

令和2年度 次世代生産技術（IoT、AI等）導入助成金

島根県内ものづくり産業の生産性向上を図るため、県内他の中小企業者のモデルとなる次世代生産技術（IoT、AI等）を導入・実証する事業の取組みを支援します。

概要

事業区分	導入型	実証型
事業対象	<ul style="list-style-type: none"> 生産性向上のため、次世代生産技術（IoT、AI等）を導入する事業 県内他社のモデルとなる事業 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代生産技術（IoT、AI等）等の導入にあたり、生産性向上の実証を試みる事業
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 県内で製造業に取り組む中小企業 成果公開が可能な企業 	<ul style="list-style-type: none"> 県内で製造業に取り組む中小企業
助成率	1 / 2	1 / 2
助成額	上限：5,000千円 下限：1,000千円	上限：1,000千円 下限：100千円

公募期間

導入型：随時募集
実証型：随時募集

審査方法

導入型：審査委員会によるプレゼンテーション審査
実証型：書面審査

※審査委員会の開催日時は、別途ご案内いたします。

申請方法

所定の様式に記載の上、下記申請先までご提出ください。

※詳細は案内URL参照

<https://www.joho-shimane.or.jp/solution/subsidy/4441>

【申請先/お問合せ先】

(公財)しまね産業振興財団 経営支援課 (担当:森藤・福富)

TEL:0852-60-5115 FAX:0852-60-5116

E-mail:con@joho-shimane.or.jp



頑張る企業を応援します！

公益財団法人 しまね産業振興財団

次世代生産技術とは

■本事業における用語の定義

用語	定義
次世代生産技術	生産現場の生産性向上に資するデジタル技術であり、スマートファクトリー化に向けた、CPS（Cyber-Physical System）等の概念に基づく、IoT・AI・RPA・VR・AR・システム連携等の様々な技術・製品・サービス
スマートファクトリー	センサーや設備を含めた工場内のあらゆる設備をネットワークに接続し、品質・状態等の様々な情報を「見える化」し、情報間の「因果関係の明確化」を実現し、設備同士ないし設備と人が協調して動作することを実現する先進的な工場
CPS	実世界（フィジカル世界）の多様なデータをセンサーネットワーク等で収集し、サイバー空間で分析／知識化を行い、そこで創出した情報／価値によって産業の活性化などを図る考え方
IoT	現実世界の様々なアナログ情報を、センサー・通信等の技術を用いてデジタル情報に変換・収集し、問題の「見える化」や、データ連携による「最適化」等を図る技術
AI	機械学習等の技術を用い、人間の脳をコンピュータで真似たソフトウェアやシステム。（画像処理による不良品の判定や数値分析による故障予知等に利用）
連携	見える化した情報を統合・分析し、より精度の高い生産計画の作成・実行等、様々な判断や意思決定を支援すること。

■見える化の例

見える化の対象	得たいデータ
設備	稼働状況（稼働・非稼働）、位置 温度、湿度、音、時間、振動、回数
材料等	位置、在庫数量、運搬経路、加工時間、滞留時間、温度
人	作業者の位置、移動経路、動作、視線、何の作業をしているか 体温・心拍・血圧・脳波
環境	作業場全体の状況（カメラ） 温度・湿度・気圧・音・臭い・危険・時間